



宮本製作所 しんきんものづくり大賞「2020優良企業表彰」にて、 【最優秀賞しんきんものづくり大賞】を受賞

マグネシウムを使用した生活用品メーカー株式会社宮本製作所（本社：茨城県古河市、代表取締役社長：宮本 隆）は、社団法人東京都信用金庫協会などが主催する「2020優良企業表彰式」にて、城北信用金庫（本部：東京都北区、理事長：大前 孝太郎）の推薦を受け、最優秀賞しんきんものづくり大賞を受賞しました。



▲城北信用金庫 本部にて。大前理事長より「しんきんものづくり大賞」の表彰状を授与される。

● 月間の売上平均額は約6倍に成長、SDGs時代の事業展開が受賞の理由

昭和62年にスタートした優良企業表彰制度は、各分野で創意工夫を重ね成果をあげた優良企業を表彰しています。33回目を迎える2020年、対象企業約14,000社の中から38社が推薦を受け、学識経験者の方々による厳正な審査の結果、弊社が『最優秀賞しんきんものづくり大賞』を受賞する事となりました。

選考委員会委員長 三井逸友氏からは、講評として「長年の自動車部品製造の素材と加工技術を活かし、画期的な洗濯補助剤を開発、爆発的な売れ行きを実現するとともに、地域社会の住民ニーズにこたえ、新たなコミュニティの構築発展に寄与するという今日的な企業と社会との関係をつくり、存在意義を発揮している。」とのコメントを、いただきました。

● 宮本製作所の「ものづくり」は「価値づくり」

1954年 埼玉県川口市に、自動車部品の機械工場として創業しましたが、現在は、マグネシウムの可能性を最大に活用するアイデアメーカーとして、生活用品の開発、農業/水事業など、安全な地球環境に安心して暮らすことのできる「価値づくり」に力を入れています。

シリーズ累計 430 万個を越えるヒット商品「洗たくマグちゃん」を発明した弊社は、「洗濯は洗剤をつかう」の常識を壊し、マグネシウムの洗濯で川や海をキレイにします。「洗濯排水は下水へ」の常識を壊し、洗濯排水を活用した循環型のオーガニック農業を実現します。弊社は、自動車部品の加工からアイデアを得て開発した”日用雑貨”を、つけた後の未来を創造し、事業化することを目指しています。



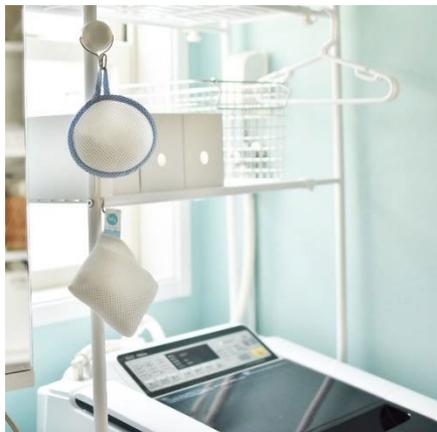
● 経営危機から一転、最優秀賞へ

コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった、東京ドームホテルでの表彰式に代わり、弊社を推薦いただいた城北信用金庫より、弊社のための表彰式を催していただきました。洗たくマグちゃんを発売した 2013 年。実は、前年度は返済計画の見直しを申し出るほどの経営難に陥っていましたが、先代の頃より取引のある城北信用金庫に支えられ、今日を迎えることができました。

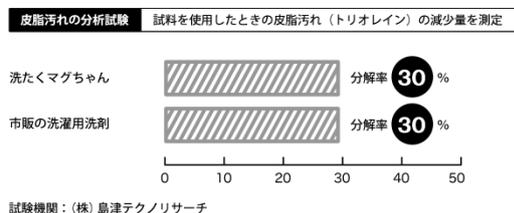
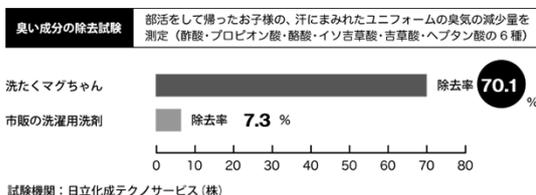
今後は、マグネシウムで「人々の暮らしと環境をより良く変えていく」ことをミッションに、あらゆる生活用品への展開を目指します。



■ 「洗たくマグちゃん」について

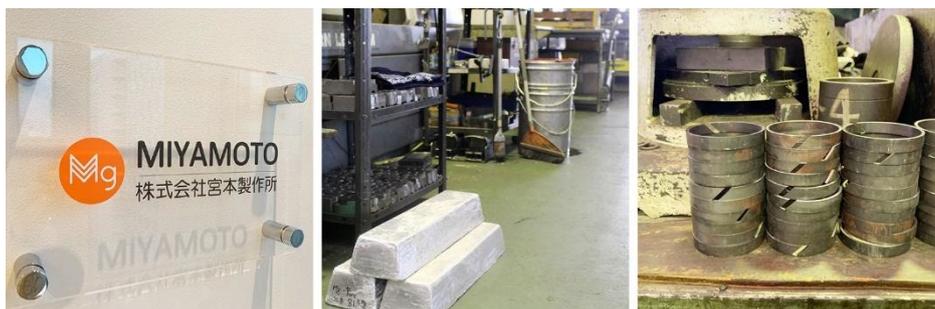


高純度のマグネシウム 99.95%を使って水素を含む弱アルカリ性の水を生成し、汚れを落とし、また汗や部屋干しの原因となる嫌な臭いを抑えてくれる、今までにないマグネシウムで洗う新発想の洗濯用品です。第三者検証で、汚れ落ちは液体洗剤と同レベル、臭い落ちは合成洗剤の約 10 倍と確認されているものです。1 個のマグちゃん で 300 回使える節約と、自然環境にも肌にも優しい安全性が支持され、2013 年の発売以来 400 万個を売り上げるベストセラーに。
<https://magchan.com> (商品販売サイト)



■ 宮本製作所について

自動車部品の加工を手がける町工場として 1965 年に埼玉県川口市で創業。以来、マグネシウム部品の加工技術を磨く。2010 年ごろ、マグネシウムの削りかすを入れたドラム缶にたまった雨水にボウフラが湧いていないことにヒントを得て、マグネシウムの洗浄効果を研究開発する。2013 年に「洗たくマグちゃん」を製品化。一時は経営危機にも陥った町工場であったが、現在、マグネシウムを使用した生活用品メーカーとして、事業拡大中。
<https://miyamotoss.co.jp> (コーポレートサイト)



【お問い合わせと画像の請求はこちらをお願いします】

販売促進部 広報 大崎 美紀

TEL: 03-6260-8172、E-mail: prmarke@miyamotoss.co.jp

###